

公開講座
國指定重要文化財
—「和泉」地名発祥の地—
和泉の国総社・泉井上神社
—田所宮司語る—
—テーマー神社と神様—



日 時 ; 平成 30 年 7 月 21 日 (土)
午後 4 時～

場 所 ; 泉陽会館 2階

田所 貞文宮司プロフィール

- ・泉陽高校 昭和 41 年卒 18 期生
- ・泉井上神社宮司
- ・和泉幼稚園園長
- ・大阪府神社庁副庁長
- ・伊勢神宮評議員

(JR 阪和線 和泉府中駅前にある
かつては和泉国府の略中心に位置していたという。)

和泉の地名の起こり

泉陽高校卒業生なら、和泉の発祥については興味があると思います。
手短に纏めてみます。

和泉国五社総社とは、奈良時代靈龜 2 年 (716 年) ※河内国から分離し、和泉国が設置された際、大鳥郡・和泉郡・日根郡を割いて和泉監 (イズミノゲン国府に匹敵する特別行政組織) がおかれたとき、国司等の参拝の便宜を図るため。

境内にある和泉五社総社は、大鳥 (おおとり)・穴師 (あなし)・聖 (ひじり) 積川 (つがわ)・日根 (ひね) の和泉五社の分霊を合祀して、和泉の国の総社として泉井上神社の東に創建された神社

※710 年 平城京遷都 元正 (げんしょう) 天皇 (女帝) の時代 794 年 平安京遷都

和泉清水

大阪府指定史蹟(昭和 52 年 3 月 31 日指定)

古くから「国府清水」または「和泉清水」とよばれ、霊泉として祭られるとともに、農業用水として周辺の農地を潤してきた泉である。

社伝によると、泉は、神功皇后の新羅出兵の際、一夜にして湧き出したことから霊泉として祭られるようになったという。

水は常に清らかに澄み、その味は甘露であるとして広くその名を知られ、豊臣秀吉も大坂城に運ばせて、茶の湯に用いたという。

ここは古来、和泉国和泉郡和泉郷とよばれた地であるが、「和泉」という地名も、また「泉井上神社」の社名もこの泉に由来すると伝えられている。

(引用文献 ; 泉井上神社ホームページ)

—みなさん 是非 ご参加下さい—

